

どうする？

どうなる？

# 公共施設の将来のあい方を 考える市民対話 ～第1回～

＜三和地区＞



①いま起きている“変化”  
と公共施設をめぐる状況

# 私たちのまわりで起きている変化



# 私たちのまわりで起きている変化

人口減少



少子化



高齢化  
(長寿化)

ひとり暮らし  
世帯の増加



自然環境  
の変化



## 暮らしやすさを守るには？

ところで、

**公共施設**

**行政サービス**

って、どんなもの？

?



# 長崎市が設置・運営している

## 公共施設には、

- 学校
- 市営住宅
- ふれあいセンター
- 公民館
- 体育館
- 老人憩の家
- 図書館
- 庁舎
- 消防署

など、いろいろな施設があります。



図書館



学校



消防署



**行政サービス**とは、  
公共施設を使って提供している、  
みなさんの暮らしに必要なサービスのことで、

- 戸籍などの手続き
- 福祉
- 教育
- 子育て支援
- ごみ処理
- 消防
- 市営住宅やホールなどの管理・運営

などをいいます。





- 1 公共施設が古くなっている
- 2 人口減少・少子高齢化が進んでいる
- 3 人口減少なのに、施設が多いまま

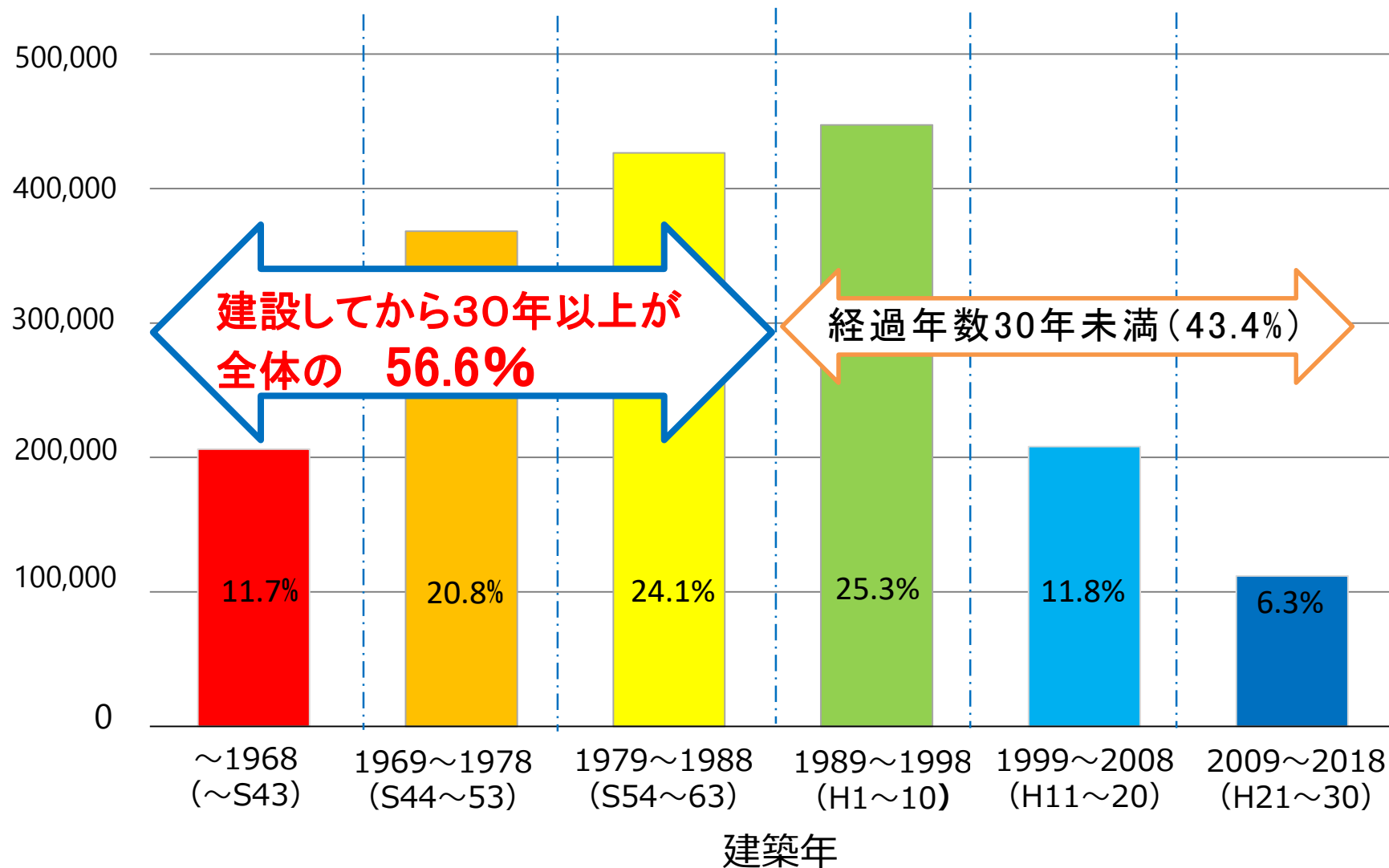




# 1. 公共施設が古くなっている <年度ごとの公共施設の建設量>

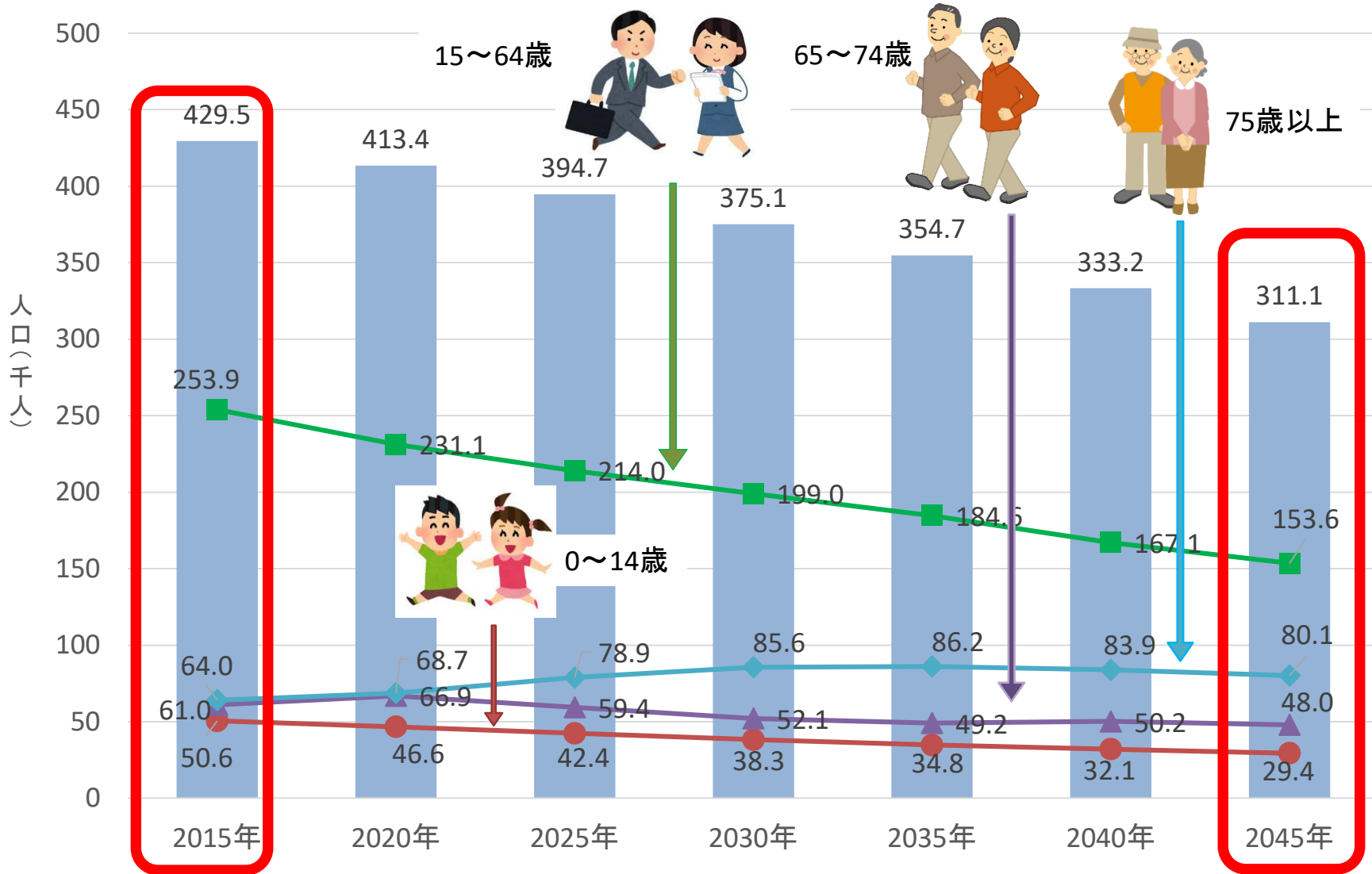
平成31年3月末現在  
※行政財産(文化財等を除く)

床面積  $m^2$



## 2. 人口減少・少子高齢化が進んでいる

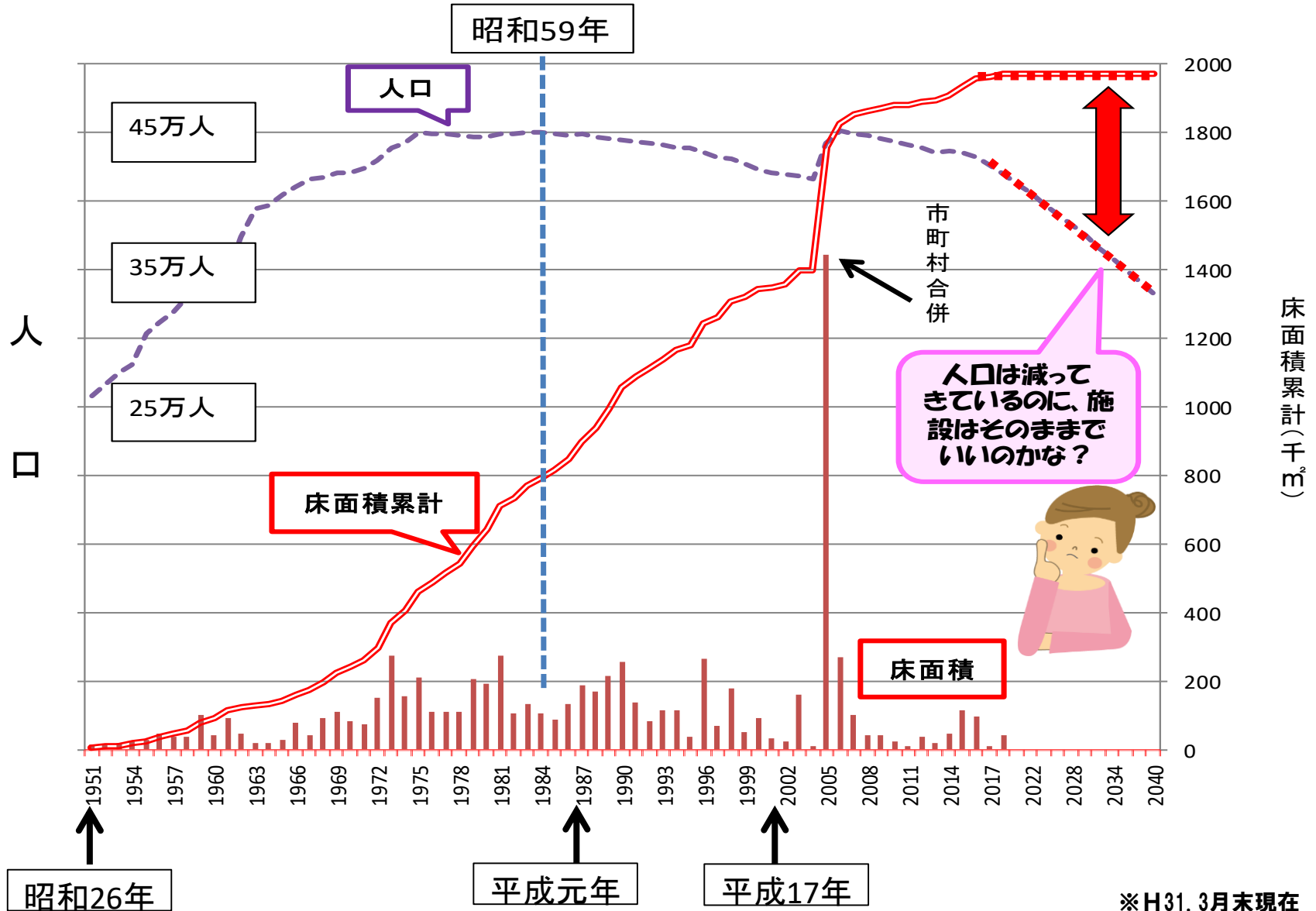
(千人) **30年で約11万8千人の減** 資料：国立社会保障・人口問題研究所（H30. 3月推計）



平成27年

# 3. 人口減少なのに、施設が多いまま

## 施設の面積と人口の移り変わり



人口減少

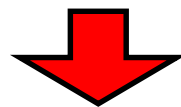


公共施設の  
利用者の減少

なのに

公共施設の  
量の増大

少子高齢化

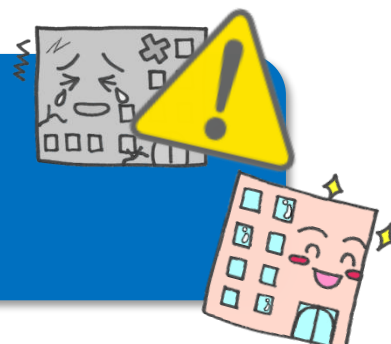
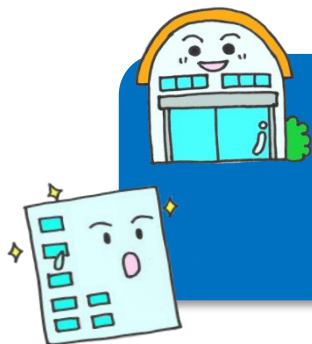


医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？



# 施設はそのまま維持できるの？

平成27年度から **今後30年間** の  
「**建て替え**」や「**改修**」にかかる費用  
不足額は… **879億円**



このままでは  
**今の施設すべての建替え・修理  
はできません**



ポイント!

## ②公共施設の 上手な見直し方



# 取組事例①

～野母崎樺島地区公民館～

H28.4移転



旧公民館



新公民館(旧樺島保育所)



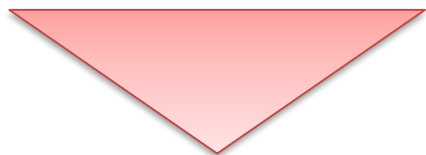
旧お遊戯室が  
講堂に！

- **耐震性なし**  
(当時：築42年)
- **バリアフリーでない**  
(3階建て)  
(エレベーターなし)
- **駐車場4台分**



- **耐震性あり** ✨  
(当時：築22年) ✨
- **バリアフリー対応** ✨  
(平屋建て)  
(スロープ設置) ✨
- **駐車場14台分**

施設を見直すこと



**行政サービスを  
なくすこと**

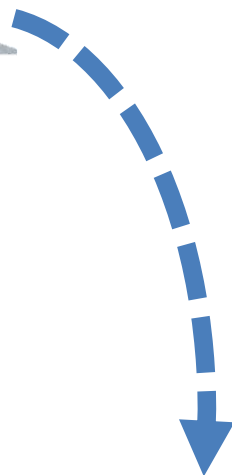


見直し



解体

建物は減らす



行政サービスは残る

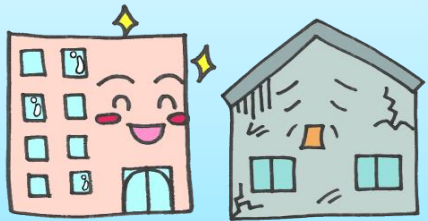
見直す時に大切に  
していることは…



# 見直す時に大切にしていること

## 次のような視点で見直しを考えます

建てられた年数  
や修理状況



地震に  
強い建物か



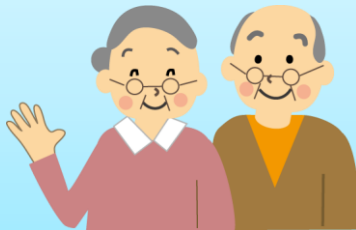
よく利用されて  
いるか



使っていない  
部屋はないか



バリアフリーに  
対応しているか



同じような  
使われかたを  
している建物が  
ないか



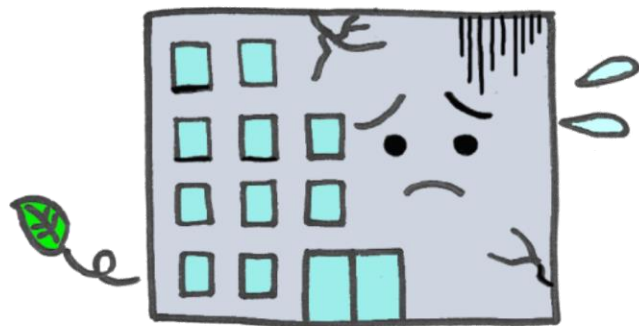
修理などに  
費用が掛かりす  
ぎていないか



次の

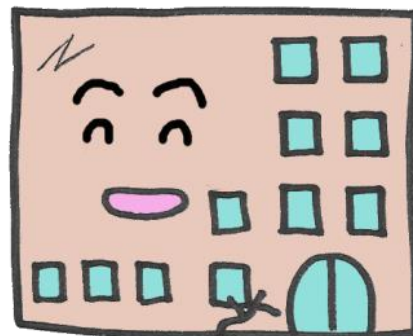
**2つ**の**手法**が考えられます





廃止予定の施設

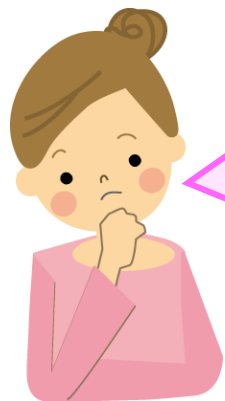
選択



使い続ける施設

廃止予定なのに  
修理をするのは、  
もったいないものね！

安全で安心して  
利用できる施設管理  
に努めます





# 手法 2

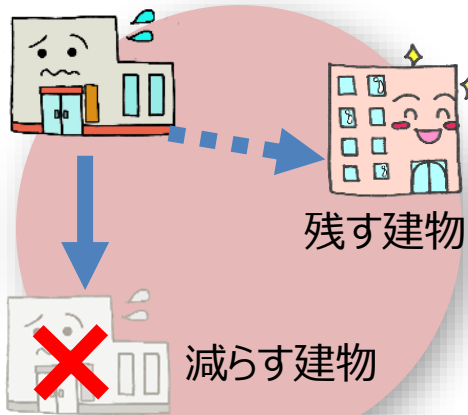
# 施設をまとめる



●いっしょに使う●



●時間をやりくり●



●活動は減らない●



●交流が活発に●